



「市場に向かう農婦」(1563年/P99)のような、インクや墨と、青やグレーの淡彩で描いた主題に関連した場面などである。その後、祝祭や象徴的なテーマの作品を手がけ、それを集めた「ウィーンのアトリオ」(1571年)や「フィレンツェのアトリオ」(1585年)をルドルフ2世に献上した。150枚のデッサンをまとめ、赤い革で装丁し、ラテン語で次のような献辞が添えられていた。



“不屈の皇帝、永遠に愛される君主、ルドルフ2世陛下に捧ぐ。ミラノのジュゼッペ・アルチンボルドより、武芸競技大会の準備のため、自らの手で生み出した無数の多様なアイデアをこめて。西暦1585年。”



「頭と果物かごのさかさ絵」

1590年頃

木板に油彩、55.9 x 41.6 cm

ニューヨーク フレンチ・アンド・カンパニー所蔵